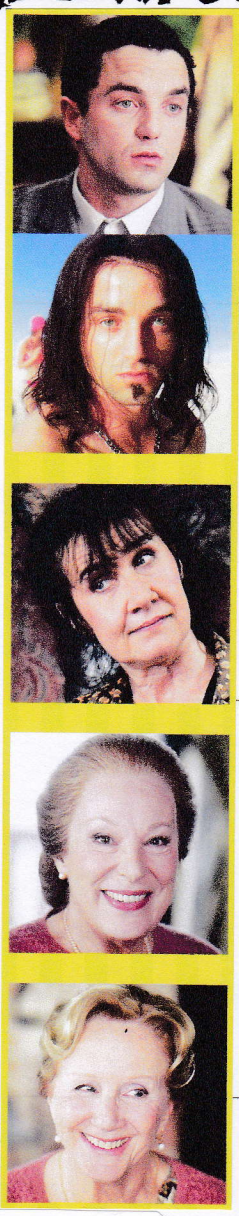
〈今月の映画〉
ぼくを探して



だから仏映画って好き!
私のお気に入りの1本になりました
オサールそしてショメ監督に感謝
主人公の日常と非日常の往復はなんて素敵なんでしょう
私達の記憶が音だということも、
人生に毒も必要ということも、
ディティールを大切にすることも、
年配へのリスペクトも、この映画は私を説得してくれました
さっ! 私を探しに行こうっと!!!

夏木マリ　＝ 同感!

〈日本農業新聞〉
2014年(平成26年)8月10日(日曜日)　エリア　(10)

東海 TOKAI

TPP SPS協定に懸念

食の安全守れ

三重 学者や生協が学習会

生活協同組合コープみえなどで組織する「地域と協同の研究センター三重のつどい」は8日、津市で「環太平洋連携協定（TPP）と食の安全」をテーマにした学習会を開いた。講師を務めた三重短期大学の石原洋介教授は、安全が担保されていない食品の輸入拡大を懸念し、「欧州連合（EU）が経済制裁を受けても米国産の合成ホルモン投与牛肉を輸入拒否したように、食の安全を守る覚悟が必要」と訴えた。

SPS協定について説明する石原教授

日本科学者会議三重支部、三重大学生協との共催。同学習会は、TPP交渉で農畜産物の輸入、関税に関心が集まる中、食の安全に関する懸念をあらためて考えるきっかけとして開いた。国会のTPPに関する決議でも、守るべき国益として食の安全・安心を損なわないことを政府に求めている。

石原教授は食の安全に関わるTPPの交渉分野で、食品の輸入検疫などの措置で最小限を目指し、「有害性の証明がなければ貿易可能」と考えるSPS（衛生植物検疫措置）協定を説明。「締結した場合、合成ホルモン投与の牛肉や遺伝子組み換え食品などで安全性に疑いを持っていても、科学的に危険の根拠が示せない場合は輸入が制限できなくなる」として、TPPが食の安全・安心に与える影響を訴えた。

情報提供は支所またはＪＡ中央会へ

中部支所
〒460－0003
名古屋市中区錦3－3－8　ＪＡあいちビル西館3階
☎052(971)2020
ＦＡＸ052(971)2024
Eメール
chubu-h@agrinews.co.jp

東海地域の中央会
岐阜中央会
☎058(276)5631
静岡中央会
☎054(284)9622
愛知中央会
☎052(951)6944
三重中央会
☎059(229)9006

《 連絡・情報提供先　090-4269-0965　hagi1922@tcp-ip.or.jp 磯津環境学校情報室 》

編集後記

▼広島の土砂災害の救出と痛ましいようすに心痛めています。広島市に嫁いだ末娘の区はすぐ隣。「みんなで」安心の町をつくるんやぞと説教を垂れる父でした。▼ドイツ人の女の子がわが家にホームステイ。明るい元気な寺社仏閣の大好きな子。雨の中お伊勢さんに出かけていきました。▼初任の津市川上の子たちが43年ぶりの同窓会をしてくれました。7時間も話し続けたけどまだ話し足りない気分。14人中もう3人が鬼籍に。それがきっかけの同窓会でした。▼重い荷物を持ち続けて左肩を痛めてしまいました。かなり努力しましたが治らず。今は整形・接骨院のお世話にならないと仕事にならない情けない様です。▼お盆が知らない間に来てあっと言う間に行ってしまいました。夜になるともう秋の虫が鳴いて、頬をなでる風も気持ちいいです。